

多根記念眼科病院

2025 年度 年報

目次

施設概要.....	2
◆診療部(眼 科).....	4
◆看護部.....	5
◆医療技術部(視能訓練科)	7
◆医療技術部(臨床検査科)	9
◆医療技術部(栄養科).....	10
◆手術センター.....	11
◆薬 局.....	13
◆医療安全部.....	15
◆事務部.....	17
【資格一覧】	18
【学会発表】	20

施設概要

【所在地】 大阪市西区境川 1-1-39

〒550-0024

TEL:06-6581-5800(代表) FAX:06-6581-5063

アクセス

電 車

JR大阪環状線・大正駅 または
大阪メトロ・長堀鶴見緑地線大正駅 下車徒歩8分
阪神なんば線・九条駅 下車徒歩 10 分

大阪シティバス

なんば より(60)天保山行 境川停留所 下車すぐ
大阪駅前 より(88)天保山行 境川停留所 下車すぐ



【施 設 概 要】

病 院 長	川村 肇
開 設 日	1988 年(昭和 63 年)10 月
病 床 数	58 床
標 榜 科 目	眼 科 / 麻酔科
土地・建物(㎡)	敷地面積 991.76 ㎡ 延床面積 3,942.97 ㎡
指定・認定関係	
基 準 関 係	一般病棟入院基本料(急性期一般入院料 4)/診療録管理体制加算 3 医師事務作業補助体制加算 1(20 対 1)/医療安全対策加算 1/ 医療安全対策地域連携加算 1/医療 DX 推進体制整備加算/医療情報取得加算 データ提出加算 1 □(医療法上の許可病床数が 200 床未満)/ 患者サポート体制充実加算 病棟薬剤師業務実施加算 1/救急医療管理加算/後発医薬品使用体制加算1 25 対 1 急性期看護補助体制加算(看護補助者 5 割以上)/ 看護補助体制充実加算 1/せん妄ハイリスク患者ケア加算/ 入院ベースアップ評価料93/外来・在宅ベースアップ評価料(1)/ 短期滞在手術等基本料 1/入院時食事療養(Ⅰ)/薬剤管理指導料 /コンタクトレンズ検査料 1/ロービジョン検査判断料 /医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 4 に掲げる手術 治療的角膜切除術[エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角 膜変性に係るものに限る)] 角膜移植術(注2:角膜内皮移植加算) 羊膜移植術/緑内障手術[緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)] 緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術) 緑内障手術[濾過胞再建術(needle 法)] 網膜再建術/医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 5 及び 6 に掲げる手術 黄斑下手術等(黄斑下手術、硝子体茎頭微鏡下離断術、増殖性硝子体網膜症手術、 眼窩腫瘍摘出術他) 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等(涙嚢鼻腔吻合術)/角膜移植術 /上顎骨形成術等(上顎骨形成術)

	療担規則第 5 条の 4 第 1 項及び療担基準第 5 条の 4 第 1 項の選定療養に関して支払を受けようとする場合の厚生労働大臣の定める基準による(24)白内障に罹患している者に対する水晶体再建に使用する眼鏡装用率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズの支給に関する事項
第 三 者 評 価	

(2026 年3月現在)

◆診療部(眼 科)

【部 署 概 要】

常勤医師 14 名と非常勤医師13名で構成されております。

【診 療・体 制】

眼科のなかでも専門分野が細分化され、診療が高度化してきた医療事情を踏まえ、当院では各専門領域の専門科を配置し高度な診療を提供しております。月曜日から金曜日まで 5～7 診体制で、一日平均患者数約156名(初診患者数約20名)の診療に当たっております。どの曜日にも網膜剥離、眼外傷、緑内障発作など緊急疾患に対応できる医師を配置し、緊急手術ができる診療体制にしております。また、最近では様々な眼内レンズが登場し、白内障手術も進化していますが、手術中にリアルタイムで計測分析する機器を導入し、患者様のニーズに合わせた高い精度での手術を行っております。

【診 療・部署実績】

2025年度の手術件数は 3,455 件で、内訳は白内障手術 1,698 件、網膜硝子体手術848件、屈折矯正手術10件、その他899件となっています。
加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症に対する抗 VEGF 薬の硝子体注射は、上記の件数に含まれておらず、外来処置室にて年間約 1,470 件施行しております。

◆看護部

【部 署 概 要】

<入院>

5 階・6 階病棟(2 フロア1看護単位:58 床)、6 階病棟の内 6 床を日帰り手術(ケアルーム)として利用。新入院患者月平均207名、病床稼働率59.0%、平均在院日数 3.5 日。入院患者の多くは手術目的であり、短い入院期間でも安心して退院後の生活に戻れるよう、多職種連携による退院指導・支援を重点的に実施している。また、他施設からの紹介による緊急入院への迅速な対応体制を整え、地域の急性期ニーズに応えている。

<外来>

外来看護師は、処置・検査介助、術前説明、入院オリエンテーション、日帰り手術患者のケアを担い、効率性と患者一人ひとりへの丁寧な対応の両立を目指している。診察・検査の待ち時間短縮に向けて、動線の改善や声かけの工夫など、「患者の体感時間を短くする」取り組みを継続している。

【診 療・体 制】

人員配置:一般病棟入院基本料(急性期一般入院料 4)

急性期看護補助体制加算 25:1(5 割以上)

看護要員:看護師41名、ナースエイド(看護補助者)4 名、病棟クラーク 1 名

メディカルクラーク21名

看護方式:チームナーシング

【特 色・トピックス】

1. 2025 年度第 2 回認定看護管理者教育課程修了 セカンドレベル : 谷岡裕子
2. 大阪府災害支援ナース養成研修修了 : 吉岡菜津美
3. 令和 7 年度医療安全推進指導者講習会受講:滝谷英美、呉浦尚加
4. 令和 7 年度 認知症対応向上研修受講:呉浦尚加、木下和子、二宮仁生
5. 令和 7 年度 高齢者・障害者雇用関係表彰:矢川靖子
6. 2025 年度 大阪市西支部医療安全交流会:江口華代
7. 目の健康講座(市民講座)開催 (2025. 7. 18)
8. 眼科看護部教育計画 眼科コース開催(9 回) 眼科コース修了者 4 名
9. 2025 年度 タスクシフト/シェアの推進会議開催 9 項目改善
- 10.TQM 活動(2025.4~2026.3)
 - 「Have a nice Vision!」~狙い目に納得して手術を受ける~
 - 「私の本日のメニューはこちら」~わかりやすい患者案内を目指して、次はどこで何する?~
11. 大阪市立西中学校職場体験受け入れ(2024.9)
12. 大阪市立堀江中学校職場体験受け入れ(2025. 11)
13. 関西福祉科学大学臨地実習(2024.3)
- 14.看護部クリニカルラダー2025 年度新規取得者 2 名
- 15.メディカルクラーク・病棟クラークラダー2025 年度新規取得者 7 名
- 16.2025 年度医師事務作業補助者研修修了 3 名
- 17.印刷物(帳票)いきいきチームへタスクシフト(2025. 6)
- 18.術前検査(レントゲン・心電図)、総合病院への電話連絡削減 ルール化(2025. 6)
- 17.ハイブリットシート入れ替え(2025.9)
- 18.眼科問診表の変更(2025. 10)
- 19.正面玄関へマスクの自販機設置(2026.1)

--

【診 療・部署実績】

1.看護目標に対する評価 1)部署別目標中間評価（9 月） 2)部署別目標最終評価（3 月） 2.看護部委員会成果発表会（3 月） 3.TQM 発表会(3 月) 4.看護研究発表会(3 月)
--

◆医療技術部(視能訓練科)

【部 署 概 要】

当科では各種眼科医療機器・器具を使用し、さまざまな視機能検査や斜視・弱視の訓練およびロービジョンケアなどを行っている。

【主な業務内容】

・眼科一般検査

視力・眼圧・視野・色覚・眼底写真・コンタクトレンズ・白内障術前検査など

・斜視弱視検査および訓練指導

斜視術前検査・弱視訓練・眼球運動訓練・輻湊訓練など

・ロービジョンケア

低視力者に対するルーペ・遮光眼鏡・拡大読書器などの視覚補助具の選定、各種福祉サービスや身体障害者手帳に関する情報提供など

他にも白内障手術では日々のデータを入力、解析することで精度管理に役立てている。新しい多焦点眼内レンズ等の導入に際しても事前の準備や術後評価を行い、患者満足度の向上に努めている。地元の幼稚園の眼科検診に医師とともに出向き、地域の検診にも参加している。

【診 療・体 制】

視能訓練士:14名(常勤:11名・非常勤:3名)

全員で取り組む一般検査の他により専門性の高い分野について5つのサブグループを組み、これらグループの活動を通じて技術の向上や問題解決をはかるとともに業務の改善にも取り組んでいる。また、新入メンバーの研修についてもグループ単位で行っている。

最近の診療では画像関連の検査業務が増加しており、写真、OCTグループへの人員育成の強化を行った。

【サブグループの構成】

Aモード・エキシマレーザー・写真・ロービジョン・コンタクトレンズ・OCT

【特 色・トピックス】

外来業務の運営において人員配置や各検査、カルテの流れを見直し業務の効率を改善した。

外来コーディネーター2名の育成を行った。

サブグループの在り方を見直し、診療上必要性が高いグループにおいては全員が担当できるように構成メンバーの検討を行い、業務の属人化の解消に向けて体制を整えていく。

Aモードグループでは多焦点眼内レンズの術前検査において、不満症例の削減のため説明、同意が確認できる文章の作成を行った。

写真グループでは蛍光造影眼底写真の研修を2名に行った。

ロービジョングループでは福祉サービスの手引きの改訂を行った。

コンタクトレンズグループでは知識、技術の向上を目指し、業者による勉強会を開催した。(7月・10月・11月・2月)

【診 療・部署実績】

視能訓練業務

・斜視・弱視視能訓練(7件)

・斜視術前・術後検査(103件)

・プリズム眼鏡処方(80件)

・ロービジョンケア(68件)

・眼鏡処方(94件)

- ・視野検査(849 件)
- ・眼底写真撮影 眼底カメラ(広角含む)(4,689 件)
- ・蛍光眼底撮影(臨床検査技師撮影含む)(120 件)
- ・眼底三次元画像解析(臨床検査技師撮影含む)(15,890 件)
- ・眼内レンズ術前検査(多焦点以外)(1,758 件)
- ・多焦点眼内レンズ術前検査(80件)

専門分野の活動

A モード

地域連携アイリスの会

「多焦点眼内レンズの手術におけるマルチコーディネーターの役割」発表者:田中(2024 年 9 月)

参天製薬社内研修会

「レンティスコンフォートの術前術後検査とアドバンテージ」発表者:佐藤(2024 年 9 月)

参天製薬 web 講演会

「CO から見る、術前術後検査の留意点」発表者:佐藤(2025 年 2 月)

写真

日本臨床眼科学会で眼科写真展に出展した眼底写真が、医学雑誌「眼科」の表紙に採用された。

各専門分野の学会に参加し部署内で報告を行い情報の共有を行った。

◆医療技術部(臨床検査科)

【部 署 概 要】

感染管理業務・臨床検査関連業務を主とし、眼科検査業務(視能訓練科業務)および事務部業務の補助をおこなう。

【診 療・体 制】

臨床検査技師	1 名
感染管理業務	診療部・医療安全部等各部門(各部署)と連携して、院内感染防止対策を実施 院内感染防止対策委員会(ICC)の運営
臨床検査業務	検体採取・臨床検査データ確認・眼科領域 PCR 検査外注手配
眼科検査業務補助	超広角眼底撮影(無散瞳)・光干渉断層画像撮影(OCT)
事務部業務補助	各部署器材および機器の修理に関する管理・各部門(各部署)稟議書管理

【特 色・トピックス】

COVID-19 およびインフルエンザ 検査における鼻腔・鼻咽頭検体採取および検体搬送の実施

各部門(各部署)間を組織横断的に業務の実施

各部門(各部署)からの各種問い合わせ・業務要請に対応

感染対策関連および医療機器(中材業務)関連学会への参加等による知見に基づいて業務を実施

【診 療・部署実績】

感染管理業務	新型コロナウイルス感染症および季節性インフルエンザ 感染症 各種対応 感染症法改正に準じて 届出一覧・届出基準・届出様式の更新(随時)
臨床検査業務	手術前臨床検査結果のデータチェックを実施 COVID-19 およびインフルエンザ 検査における検体採取および検体搬送の実施
眼科検査業務補助	超広角眼底撮影(無散瞳)・光干渉断層画像撮影(OCT)の実施
事務部業務補助	各部門(各部署)における器材および機器の修理に関する管理の実施 各部門(各部署)における稟議書の管理の実施 手術支援室関連データの作成

◆医療技術部(栄養科)

【部 署 概 要】

患者自身の回復力を高め、疾病治療に役立てることを目的として、各個人の病状に合わせた適切な食事を提供している。見た目や味だけでなく、視力が不良な患者が多いことを考慮し、料理と食器の色のコントラストにもこだわっている。おかずは一から手作りで、食物アレルギーや嗜好などの個別対応にも柔軟に対応することが出来ている。また、入院中の食事以外でも、必要な患者には、退院後の食生活に関する栄養相談や指導を行っている。

【診 療・体 制】

管理栄養士 1 名

※給食業務は日清医療食品に委託(栄養士 1 名、調理師 2 名、調理補助 3 名)

【特 色・トピックス】

- ・昨年度に引き続き感染防止対策を実施し、患者や家族が安心して利用できるよう環境整備を行った。
- ・新規入院患者には、入院時にアレルギー有無の確認と食事内容の説明を行い、安心安全な食事提供と事故防止に努めた。
- ・7 階フロアは災害時の一時避難場所に指定されているため、患者を受け入れる場所作りと避難誘導を迅速かつ適切に行えるよう、2025 年度は他職種合同で災害訓練を1回実施した。

【診 療・部署実績】

《月別食事提供数》

	一般食	特別食	総食数
4月	1,950	371	2,321
5月	2,004	502	2,506
6月	1,643	255	1,898
7月	1,597	460	2,057
8月	1,516	259	1,775
9月	1,369	324	1,693
10月	1,893	474	2,367
11月	1,423	312	1,735
12月	1,592	442	2,034
1月	1,929	302	2,231
2月	1,609	343	1,952
3月	1,545	416	1,961

《行事食》

4月	お花見弁当	桜ちらし、桜餅
5月	端午の節句	箱寿司、柏餅
7月	七夕	七夕そうめん
9月	敬老の日	赤飯、とろろ蒸し
10月	お月見	お月見ゼリー
11月	紅葉弁当	松茸ご飯、芋羊羹
12月	冬至	ゆず味噌田楽
	クリスマス	クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば
1月	お正月	お節料理
	七草の節句	七草粥
2月	節分	恵方巻き、福豆
3月	ひな祭り	ちらし寿司

◆手術センター

【部 署 概 要】

2025 年度の手術件数は 3,455 件で、白内障手術を中心に、網膜硝子体疾患や緑内障、涙道疾患など多数の手術を手掛けてきた。手術センターでは、これらの手術を安全かつ迅速に実施することができるよう、日々取り組んでいる。

当院の特色として、予定手術に加えて多数の緊急手術を受け入れていることがあげられる。他施設からの紹介による網膜剥離や緑内障発作、眼内炎、眼外傷などの緊急手術の可能性がある患者に対しては、事前に患者情報を地域連携室と共有し、迅速に手術を受け入れられる体制を整えている。

2025 年度の当日緊急手術は、273 件(月平均 22.7 件)であった。

また、小児や認知症など、局所麻酔での手術が困難な患者に対しては、全身麻酔での手術を実施している。2025 年度の全身麻酔下手術は 525 件で、2024 年度に比べて 59 件増加しており、年々、増加してきている。入院が困難な患者や日帰り手術希望の患者においては、日帰りによる全身麻酔手術にも対応している。

限られた時間の中で多種多様な手術に対応し、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者の安全を第一に考え、患者の個別性を大切にして、患者中心の周術期医療が提供できるよう努めている。

【診 療・体 制】

手術室:1～3 ルーム

勤務体制:平日→居残り 1 名体制 土・日・祝日・後送日→待機 2 名体制

手術支援室職員数:10 名

常勤看護師 6 名(うち看護主任 1 名) 非常勤看護師 2 名 視能訓練士 1 名

メディカルクラーク 1 名

【特 色・トピックス】

1. 周術期看護の質と効率性の向上

- 1)業務の効率化のため業務改善を行い、他職種でタスク・シェア/シフトの促進に取り組んだ
- 2)個別性のある周術期看護実践を行い、正しく記録に残せるよう術中看護記録の向上に取り組んだ。

2. 手術支援室の部署内教育体制の強化

- 1)役割別業務確認表・新入職者パスを活用した、新入職者指導に取り組んだ
- 2)新入職者研修

- (1)眼科看護研修:眼科看護技術、各疾患(白内障・網膜硝子体、涙道、糖尿病網膜症、緑内障、ロ-ビジョン、角膜)について(4 月～11 月)
- (2)眼内レンズ:レンズセッティング説明会(4 月～6 月)
- (3)医療機器:センチュリオン、コンステレーション、顕微鏡・カリスト説明会(4・7 月)
- (4)眼科基礎知識視能訓練士による疾患別勉強会、視力について(5 月・6 月)
- (5)技術習得:IV ナース I・II(6 月・7 月)
- (6)眼科検査:眼科検査 I・II、(7 月・12 月)
- (7)他部署研修:外来・病棟・ケアルーム研修(3 月)

3)眼科知識の向上のため、医師・教育担当者・メーカーによる勉強会を実施した

- (1)眼内レンズ説明会(5 月～11 月)
- (2)症例検討会:術中低血糖症状・血圧低下(8 月)
- (3)疾患勉強会:難治性黄斑円孔に対する手術(10 月)・斜視(10 月)
- (4)医療機器:エルマンサージトロン(1 月)・カールストルツ テレパック説明会(3 月)
- (5)救急シミュレーションの実施(3 月)

3. 安全の確保

- 1) インシデント・ヒヤリハット報告の啓発活動を強化し、インシデント発生件数の削減(眼内レンズ関連、薬剤関連)に取り組んだ
- 2) 手術室に関連する医療安全マニュアルの見直し・更新に取り組んだ
- 3) 災害対応力の向上
 - (1) 役割別アクションカードの見直し・更新
 - (2) 他職種合同防災訓練の実施(3月)

4. 自己研鑽

- 1) 感染セミナー・関西感染症フォーラム・院内感染対策講習会(5月～10月)
- 2) フォーサム 2025 横浜(7月)
- 3) 第1回多根眼科フォーラム(9月)
- 4) 日本臨床眼科学会(10月)
- 5) 視機能看護学会学術総会(10月)

5. 他部署からの研修の協力

- 1) 看護部: 看護師経験5年以上の他部門研修として、病棟看護師1名(2月)
- 2) 視能訓練科: 他部署見学研修として、視能訓練士2名(3月)

【診療・部署実績】

2025年度の手術件数: 3,455件 処置件数: 158件

手術内訳: 白内障 1,698件、網膜硝子体 848件(うち強膜内固定 136件)、緑内障 77件、涙道手術(涙道内視鏡下チューブ挿入術、涙嚢鼻腔吻合術など) 529件、その他の手術(斜視、眼形成、翼状片など) 303件

全身麻酔手術: 525件 局所麻酔: 2,930件

当日緊急手術: 273件(月平均 22.7件)

1日平均手術件数(平日): 14.8件

◆薬 局

【部 署 概 要】

薬局では、安全かつ適正な薬物治療を提供できるよう薬剤師としての専門性を活かし、内服薬・外用薬・注射薬の調剤業務、特殊な院内製剤を作成する製剤業務、医薬品情報管理業務、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、医薬品管理業務、治験業務などの業務に取り組んでいる。また、感染防止対策、医療安全対策、褥瘡対策などのチーム医療にも積極的に参加している。

【診 療・体 制】

常勤薬剤師：3名（ 医薬品情報管理室 1名 、 病棟専任薬剤師 2名）

【特 色・トピックス】

2025年度も引き続き、薬剤インシデント減少を目標に部署内で検討を行った。業務を見直し、防止策についてマニュアルを変更し、実行した。また、薬局からのお知らせ・DIニュースを計10通/年を発行し、眼科薬以外でのお薬情報や薬剤関連の注意喚起をおこなった。
病棟活動では、引き続き病棟薬剤業務実施加算を継続し、入院患者様に安心してお薬を使用していただけよう病棟担当薬剤師を設置し主に病棟で活動している。

【診 療・部署実績】

	入 院							外来院内 薬剤情報
	新入院数	指導患者数	指導回数 (訪問)	薬剤管理指導料 (安全管理を要する医薬品)	薬剤管理指導料 (1の患者以外の患者)	退院時薬剤情報管理指導料	病棟薬剤業務 実施加算1	
2025年4月	219	207	472	38	133	79	174	54
2025年5月	221	209	481	57	145	106	208	60
2025年6月	211	199	444	56	112	90	180	39
2025年7月	213	199	446	34	103	71	136	44
2025年8月	166	162	347	28	88	65	135	46
2025年9月	176	173	363	34	95	69	130	57
2025年10月	224	228	479	52	132	109	179	65
2025年11月	187	174	391	26	101	77	147	43
2025年12月	184	176	405	39	125	88	159	48
2026年1月	236	211	487	35	133	92	174	50
2026年2月	206	193	442	29	112	72	147	37
2026年3月	236	206	473	38	102	76	155	46
合計	2,479	2,337	5,230	466	1,381	994	1,924	589
月平均	207	195	436	39	115	83	160	49

	外来処方箋		外来 注射箋	入院処方箋		入院注射 処方箋	院外処方箋発 行枚数
	枚数	割数		枚数	割数		
2025年4月	68	83	213	610	1544	96	1774
2025年5月	81	100	205	687	1710	116	1612
2025年6月	60	78	222	634	1496	126	1605
2025年7月	69	91	216	556	1408	101	1727
2025年8月	72	97	176	460	1113	81	1446
2025年9月	78	94	193	468	1153	89	1557
2025年10月	91	107	232	622	1591	117	1678
2025年11月	66	77	188	516	1305	76	1458
2025年12月	76	99	210	576	1414	114	1719
2026年1月	75	103	217	678	1637	122	1609
2026年2月	56	68	168	601	1480	104	1572
2026年3月	69	87	187	596	1489	105	1592
合計	861	1,084	2,427	7,004	17,340	1,247	19,349
月平均	72	90	202	584	1,445	104	1,612

◆医療安全部

【部 署 概 要】

医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の推進を図ることを目的として、医療安全管理委員会と連携しながら活動を展開している。

主な業務内容

1. インシデントレポートを集計し、問題を分析、対策を立案する。
2. 医療事故等の原因究明と防止策の立案、実施及び評価を行う。
3. 日常的に院内をラウンドし、各部署の医療安全マニュアルの遵守状況、インシデントに対する改善策の実施状況を確認し、必要な指導を行う。
4. 医療安全マニュアルの策定、整備を行う。
5. 医療安全に関する職員研修の企画及び運営を行う。
6. 相談窓口担当者と連携し、患者・家族からの相談に対応する。

【診 療・体 制】

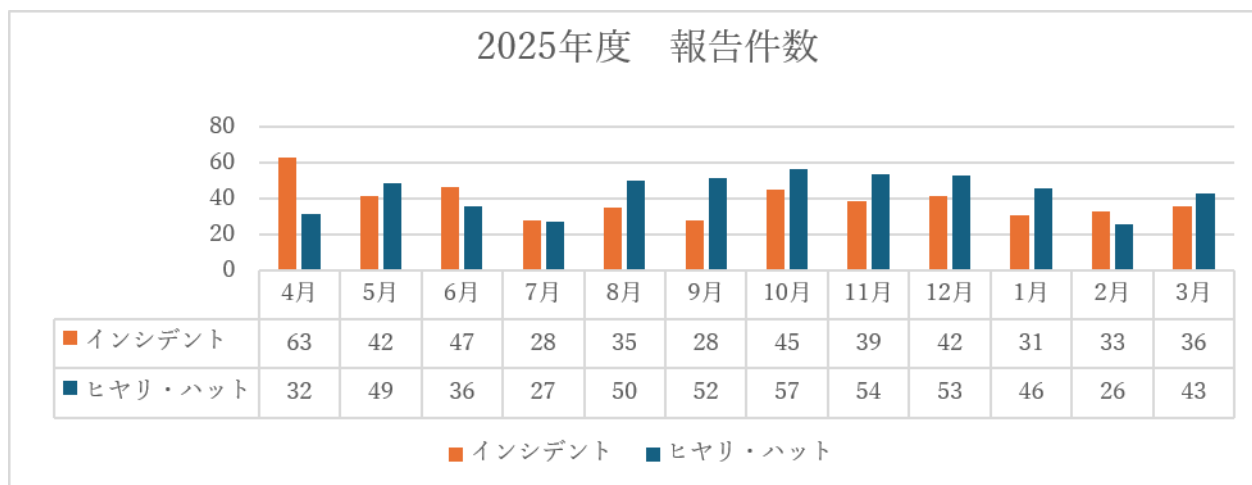
医療安全部長(副院長)
 医療安全管理者(看護師)
 医薬品安全管理者(薬局長)
 事務長
 ・医療安全対策加算Ⅰ
 ・医療安全対策地域連携加算Ⅰ

【特 色・トピックス】

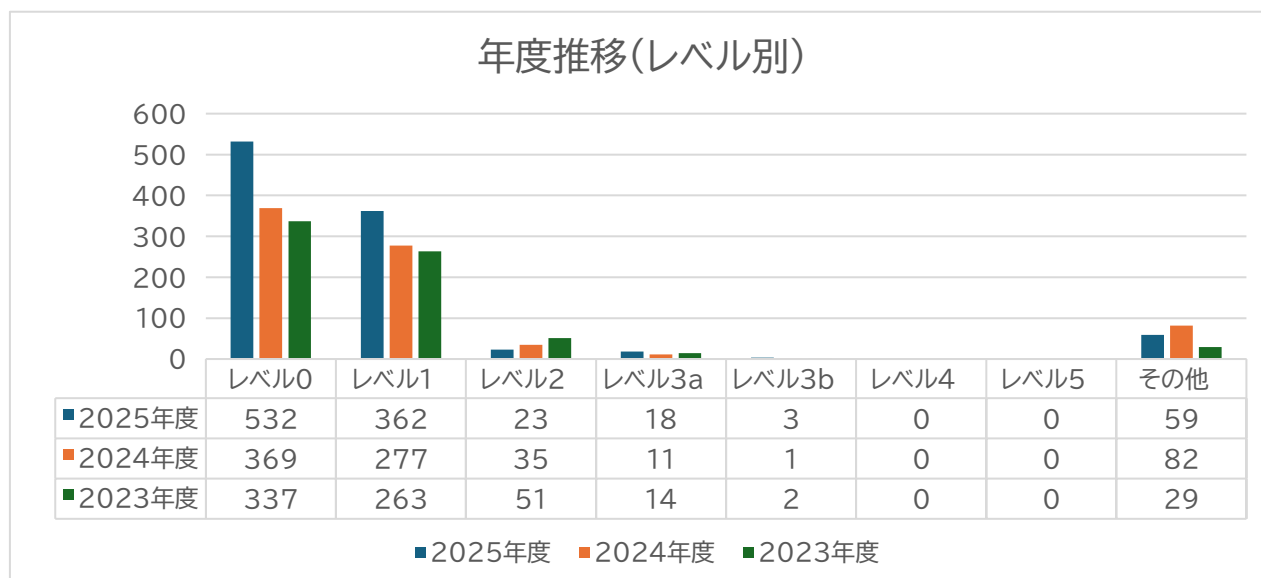
1. インシデントレポート分析及び対策の検討:他部署からの報告による改善件数 45 件。RCA 分析: 7 件
2. ヒヤリ・ハット報告数の増加への取り組み:他部署からの改善依頼について開示とフィードバックを実施。ヒヤリ・ハット報告が全体報告の 53%となった。
3. 医療安全マニュアルの追加・改訂:
 - ・身体拘束に関する基準・患者の意志決定支援に関する指針・針刺し事故防止、・薬剤ダブルチェックに関する取り決め事項・医療機器安全管理指針・深部静脈血栓予防取扱基準、・持続血糖測定に関する注意事項、等
4. 医療安全ニュース発刊:医療の安全性向上に寄与するガイドラインやリスク管理、インシデント報告からの改善や情報共有すべき内容等を記載。4回/年発行
5. ポジティブレポートの推進:毎月ヒヤリ・ハット報告の中から、職員の気付きで事故やエラーを防げた事例を「ポジティブレポート」として選出。21 件/年のポジティブレポートから MRM メンバーの投票で上位 3 位を決定し、優秀賞として表彰を行った。
6. 2 カ月に1回、テーマを決めて医療安全ラウンドを実施
7. 南海トラフ地震を想定した防災訓練、災害対策本部設置訓練の実施

【診 療・部署実績】

1. 2025 年度 全体報告件数:997 件(インシデント報告数:465 件、ヒヤリ・ハット報告数:525 件)
- 2.全職員対象研修:9 月 8 日 「意志決定支援」、2 月 16 日 「チームステップス」
- 3.新入職者対象:4 月 7 日「医療安全オリエンテーション」
- 4.医師事務作業補助者研修:7 月 30 日「医療安全」、「感染対策」



レベル別報告数 年度推移



◆事務部

【部 署 概 要】

《経営管理》

中・長期および年度計画管理 / 収支管理 / 経営指標管理 / 諸規定管理 / 業務委託管理 / 防災・防犯管理 / 未収金管理

《診療報酬管理》

診療報酬請求業務 / 施設基準管理 / 審査増減・請求漏れ管理

《個人情報管理》

診療記録管理 / 個人情報保護相談窓口業務 / 患者動向管理

《患者対応》

受付業務 / 会計業務 / 電話交換業務 / 院内掲示管理 / クレーム対応 / 施設内外保安業務

【診療・部署体制】

医事課と診療支援課(地域連携室)及び医局秘書部門から構成。

窓口業務(受付・会計等)の他、スタッフごとに業務を分担することで高い専門性を維持し、業務を定期的にローテーションすることで業務の平準化と職員教育に繋げている。

《主な分担業務》

- ・診療報酬請求管理(公費/労災)
- ・返戻再請求管理
- ・データ提出加算管理
- ・自費診療管理
- ・未収管理
- ・紹介患者受入業務、逆紹介業務
- ・医局(診療部)秘書業務

【特 色・トピックス】

1. 部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進
2. 施設基準および加算の管理
3. レセプト査定の最小限への取り組み
4. 自己研鑽の推進(学会・勉強会への参加、各種資格の取得)
5. 治験への積極的協力
6. 学生研修の積極的受け入れ

【診 療・部署実績】

《他部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進》

メディカルクラーク、視能訓練科と連携して受付業務を効率化し、初診患者の待ち時間短縮に繋げている。

《施設基準および加算の管理》

新規加算取得による増収 / 次年度診療報酬改定を想定した経営指標の試算、対策立案

【資格一覧】

施 設:	多根記念眼科病院	部 署:診療部
役 職・氏名	資 格	
名誉院長 大路 正人	滋賀医科大学名誉教授/医学博士/眼科専門医/眼科指導医/ PDT 学会認定医/臨床研修指導医	
院長 川村 肇	医学博士	
副院長 川村 肇	眼科専門医/医学博士/PDT学会認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医 /臨床研修指導医	
手術センター長 大江 雅子		
診療部長 西信 良嗣	眼科専門医/臨床研修指導医/医学博士	
診療副部長 宋 よんす	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
医 長 北方 秀憲	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
医長 伊集院 朋子	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
医長 小島 美帆	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医/オルソケラトロジー認定医	

医局長 三島 雅	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医/ PDT 学会認定医
医長 越智 靖之	眼瞼痙攣治療ボトックス認定医
谷村 直紀	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医/医学博士
大塚 友貴	眼科専門医
鳥羽山 千尋	
堀尾 真子	

施 設:	多根記念眼科病院	部 署:看護部
資 格		人数
感染管理認定看護師		1名

施 設:	多根記念眼科病院	部 署:視能訓練科
資 格		人数
認定視能訓練士		1名

施 設:	多根記念眼科病院	部 署:薬局
資 格		人数
治験コーディネーター		2名
認定実務実習指導薬剤師		1名
日病薬病院薬学認定薬剤師		2名
サプリメントアドバイザー		1名
公認スポーツファーマシスト		2名

施 設:	多根記念眼科病院	部 署:検査科
資 格		人数
第2種滅菌技士		1名

施 設:	多根記念眼科病院	部 署:栄養科
資 格		人数
病態栄養専門管理栄養士		1名

施 設:	多根記念眼科病院	部 署:事務部
資 格		人数
社会福祉士		1名
衛生工学衛生管理者		1名
施設基準管理士		1名
医療情報技師		1名
認定ホスピタルエンジニア		1名
特定高圧ガス取扱主任者(液化酸素)		1名
普通第一種圧力容器取扱作業主任者		1名

【学会発表】

【学会発表】	施設:	多根記念眼科病院	部署:	診療部
会名称	第 465 回 大阪眼科集談会			
発表テーマ	両眼に発症した白内障術後眼内炎の一例			
日時	2025 年 4 月 5 日	発表者	越智 靖之	
場所	毎日新聞オーバルホール			
会名称	大阪北地区眼科病診連携の会			
発表テーマ	円孔底に mCNV を伴う黄斑円孔網膜剥離の 1 例			
日時	2025 年 5 月 17 日	発表者	川村 肇	
場所	ホテルグランヴィア大阪			
会名称	大阪北地区眼科病診連携の会			
発表テーマ	加齢黄斑変性診療アップデート			
日時	2025 年 5 月 17 日	発表者	大路 正人	
場所	ホテルグランヴィア大阪			
会名称	大阪西部眼科病診連携の会			
発表テーマ	緑内障手術のプリザーフロについて			
日時	2025 年 6 月 14 日	発表者	越智 靖之	
場所	ホテルグランヴィア大阪			
会名称	大阪西部眼科病診連携の会			
発表テーマ	Ellipsoid zone の不整から ASPPC(acute syphilitic posterior placoid chorioretinitis)の診断に至った 1 例			

日時	2025 年 6 月 14 日	発表者	西信 良嗣
場所	ホテルグランヴィア大阪		
会名称	OSAKA Ophthalmology Seminar 2025		
発表テーマ	バビースモ投与経験から治療方針を考える		
日時	2025 年 7 月 4 日	発表者	大塚 友貴
場所	キャノピー by ヒルトン		
会名称	就学前児保健研修会		
発表テーマ	眼科領域(近視、外傷、メディアとのつきあい方等)		
日時	2025 年 12 月 17 日	発表者	小島 美帆
場所	大阪府医師会館		
会名称	第 470 回 大阪眼科集談会		
発表テーマ	若年発症の内境界膜下出血に対して硝子体手術を施行した 1 例		
日時	2026 年 2 月 7 日	発表者	堀尾 真子
場所	毎日新聞オーバルホール		

【学会発表】	施設：	多根記念眼科病院	部署：	看護部
会名称	第 23 回 大阪病院学会			
発表テーマ	眼科病院における退院支援のあり方を考える			
日時	2025 年11月9日	発表者	谷岡 裕子	
場所	大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)			

【学会発表】	施設：	多根記念眼科病院	部署：	視能訓練科
会名称	第 23 回 大阪病院学会			
発表テーマ	多根記念眼科病院における回旋斜視手術			
日時	2025 年11月9日	発表者	貝本 磨美	
場所	大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)			

【学会発表】	施設：	多根記念眼科病院	部署：	事務部
会名称	第23回 大阪病院学会			
発表テーマ	診療上必要な写真撮影における患者向け説明ツールの導入 ～クレーム事例からの業務改善事例についての報告～			
日時	2025 年 11 月 9 日	発表者	上田 裕之	
場所	大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)			

【執筆・論文】	施設： 多根記念眼科病院	部署：	診療部
掲載誌名	文化堂「眼科プラクティス 18 涙道診療オールインワン」		
執筆・論文 タイトル	涙管チューブ挿入術		
著者	大江 雅子	掲載号 掲載年等	第 1 版 2025.04
掲載誌名	眼科臨床紀要		
執筆・論文 タイトル	眼肉レンズ強膜肉固定を施行した眼肉レンズ脱臼の症例の検討		
著者	大塚 友貴	掲載号 掲載年等	18 巻 5 号 Page338 2025.05
掲載誌名	眼科臨床紀要		
執筆・論文 タイトル	眼肉レンズ強膜肉固定を施行した眼肉レンズ脱臼症例の背景因子の検討		
著者	大塚 友貴	掲載号 掲載年等	18 巻 10 号 Page616-619 2025.10

掲載誌名	眼科臨床紀要		
執筆・論文 タイトル	両眼に発症した白内障術後眼肉炎の一例		
著者	越智 靖之	掲載号 掲載年等	8 巻 11 号 Page717 2025.11